

## 市内で活動するボランティア ウィルチェアダンス研究会クアルト

車いすダンスは、60年程前にイギリスで始まり、日本でも多くの人達が楽しんでいます。最初は、車いす同士で踊るデュオスタイルのみでしたが、その後、車いすに乗っている人(ウィルチェア)と立って踊る人(スタンディング)と一緒に踊るコンビスタイルも普及し、競技会も行われるようになりました。



### 車いすダンスで広がる世界

上の写真は、神栖市デイサービスセンターやわらぎでダンスを披露した時に撮影したものです。施設や病院で「自分たちがダンスを楽しむ様子を見ていただくことでみなさんの励みになり、一緒に踊ってもらうことでダンスの楽しさを味わってもらいたい」と訪問を続けています。

ウィルチェアダンス研究会クアルトの誕生は平成17年。代表の佃さんが車いすダンスを勉強し、市内の車いすで生活している4名に声をかけ設立となりました。本格的な車いすダンスは珍しく、今では潮来市や匝瑳市からも会員が集まり24名が活動しています。

毎週木曜日に会員が神栖市保健・福祉会館に集まって練習をします。競技ダンスの全国大会に出場予定のペアは午後6時30分からの練習時間よりだいぶ前に集合し、自主練習に余念がありません。全国から集まる選手たちと交流できることも楽しみのひとつです。

### お互いに支え合って、正真正銘の“コンビ”に

「お腹引っ込めて！背中伸ばして」という指導の音が頻繁に飛びます。車いすの生活は運動不足になりがちで、背筋を伸ばして座り続けることも大変です。練習は厳しく、でも楽しい笑い声が絶えません。

車いすで参加しているKさんは「練習後は筋肉痛になる時もあります。でもダンスがもっと上手になりたいから、リハビリの先生に相談して基礎体力の向上を図っています。ただリハビリをするより、目的があるリハビリって気合いが入りますよ！」と笑顔で語ってくれました。

正真正銘のコンビになるために、立って踊る人も車いすに座ってステップを覚えます。「相手の動きを知ることで心の距離が縮まります。お互いを思いやることがダンスには大切なんです」と佃さんは話してくれました。



クアルトでは、メンバーを募集しています。見学希望の方はボランティアセンターまで。

# 祝15周年 わくわくサロン知手団地

わくわくサロン知手団地が8月20日で15周年を迎えました。この日は、マジックや南京玉すだれ、舞踊などを鑑賞し、東町区民館内に笑い声、感嘆の声が沸き合っていました。

平成9年8月、外出が難しくなってきたひとりの高齢者のお宅に近所の高齢者が集まり、みんなで食事やお話などを一緒に楽しんだことがこのサロンのはじまりでした。



15周年記念 みんな揃って ハイチーズ！



数ある思い出の1ページ

## 思い出に残る活動

サロンを代表して向山さんと浮田さんが、机に並べきれないほどの記録を広げて15年間の思い出を語ってくれました。

近隣の軽野東小学校、神栖第三中学校と一緒に社協が開催したイベント「ふれ愛フェスティバル」で合唱したこと、施設に入所した方がサロンに参加できるように施設内でミニサロンを開催したこと、焼き肉店の協力により、お店が出張してサロンで焼き肉を頂いたこと…。「色々な方々つながり協力していただいて本当に楽しく、ほぼ毎月1回の活動を続けることができました。」と振り返りました。

サロンとは「参加者同士の顔が見え、話し声が聞こえる距離でみんなが楽しく過ごせる場」であり、「色々な人たちと地域がつながりあい、笑顔になれるところ」とサロンの魅力をお話いただきました。



お互いの声が届く距離が大切

サロンとは、家に閉じこもりがちになっている地域の高齢者や障害者、子育て中の親子などが身近な公民館やコミュニティセンターなどに集まって気軽に楽しい時間を過ごす活動です。神栖社協は、取り組みへの調整や側面的な支援を行っています。お気軽にご相談下さい。

問合せ先 神栖市社協 神栖地区 Tel.0299-93-0294 担当:名雪・下田 波崎地区 Tel.0479-48-0294 担当:横田・篠塚

## ～笑顔になる魔法の仕掛け人～

## メイクボランティアが出張します！

7月19日に社協が開催した「メイクボランティア講座」で学んだ受講生たちは、市内の高齢者施設を訪れ高齢者にメイク・ハンドマッサージ・ネイルをしながら、たくさんの元気と笑顔を引き出すお手伝いをしています。実際の施設訪問では、メイクボランティアたちの安心感を生み出す話術と愛情により、最初は表情が堅かった高齢者も目尻が下がり表情も心もほぐれてきている様子が…。メイクの後はお互いの顔を見て「あんた綺麗になったねえ！」と声を掛け合い素敵な笑顔で満ちあふれました。

活動するメイクボランティアは現在20名。市内のわくわくサロンや高齢者施設等に出張します！お気軽にボランティアセンターまでお問い合わせ下さい。



女性同士メイクをしながら会話が弾みます

## 《皆様の暖かい気持ちが善意銀行に寄せられています》

皆様から寄せられる寄付金・物品は、様々な地域福祉活動に役立てられています。善意銀行に寄せられた寄付については、神栖市社協が発行する広報紙「かみす社協ニュース（毎月1日発行。次回は11月1日発行）」で公開しております。

今回は、はさき遊漁船協議会様と県立神栖高校家庭クラブ様の活動をご紹介します。  
多大なご寄付をありがとうございました。

### ★チャリティー釣り大会を主催する★ はさき遊漁船協議会をたずねて



平成12年から毎年釣り大会を開催され、売り上げの一部を社協に寄付して下さっている『はさき遊漁船協議会』（会長：浮島和雄さん・会員8企業体）にお話を伺いました。

#### ◆寄付総額は886,687円(13回)になりました◆

「周辺地域や地元観光業の活性化はもちろん、日頃自分たちがいろいろなところでお世話になっている感謝の気持ちを、少しでも福祉を通じて還元できれば」との思いからチャリティーを始めました。

鹿島灘・銚子近海は、黒潮と親潮さらには利根川の恩恵を受けヒラメ、メバル、イナダ、タイなど様々な魚が集まる他に類をみない海釣りポイントの宝庫として知られています。今年9月26日に【波崎アカムツ祭りIN寒猫】が開催され、当日は関東一円より131名の参加があり、44,737円のご寄付をいただきました。



利根川をバックに立つ主催者のみなさん

#### ◆海とともに活気ある町をめざして◆

大会名の寒猫(カンネコ)は、波崎漁港から北東に約20km進んだ一辺約4kmのひし形の海の一帯の名前で、先人が名付け、現在まで使われているものです。「自然の恵みとともに活動してきました。これからも海の平穏を願いながら、活気あふれる町づくりに貢献していきたい」とみなさん、力強く話してくれました。

### ★ボランティア活動をハガキでアシスト!!★ 茨城県立神栖高等学校〈家庭クラブ〉

神栖高校家庭クラブのみなさんは、社協ニュースで“空飛ぶ車いす”の記事を見てその活動を知り、全校生徒に呼びかけ、書き損じハガキ等を集めました。

9月7日(金)、クラブの35名を代表して4名が書き損じハガキ54枚と使用済切手412枚を『社会貢献ができました!』と元気いっぱいボランティアセンターに届けてくれました。

「空飛ぶ車いす」は、使われなくなった車いすを修理再生して、アジアの人たちに贈る活動です。書き損じハガキは新品のハガキに交換され、そのハガキを協賛企業が購入することで、車いすの修理部品や郵送等ボランティアの活動支援の資金となります。



届けてくれた高校生4人組

☆ボランティアセンターマガジンは、ボランティアセンターホームページにて(<http://www.kamisushakyo.com/vc/>)カラーでご覧になれます。

# お知らせ



## お子さんと“クリスマス”イベントに参加してみませんか！ ～ファミリーサポートセンター会員交流会～

ファミリーサポートセンターでは、サポート活動をより円滑に行えることを目的に、サポーターと利用会員との交流会を開催します！この交流会は会員間の交流を図るだけではなく、一般(非会員)の親子でも参加できますので、新たなママ友作りやママたちの交流の場として、ぜひ親子でご参加下さい。

- ◆日 時：平成24年**11月30日(金)** 午前10時～正午まで(受付9時40分～)
- ◆会 場：神栖市保健・福祉会館 2階 研修室 ◆参加費：700円(材料代)
- ◆対象者：ファミリーサポート利用会員・協会員、一般(非会員)の親子
- ◆定 員：親子30組(先着順)、協会員20名 ◆持ち物：はさみ
- ◆内 容：下記の通りです



### クリスマスミニコンサート 演奏者：谷藤祥子 氏 (ピアノ教室講師)

ピアノの演奏に合わせて、クリスマスソング♪を歌いましょう！お子さんと一緒に楽しいひとときを過ごしませんか？

### プリザーブドフラワーで クリスマスリース作り 講 師：和田圭代子 氏 (お花の教室KANON)

今年のクリスマスはちょっとオシャレにお家を飾りづけ♪プリザーブドフラワーを使って、クリスマスリースを作ります！（プリザーブドフラワーとは、美しい姿で長期間保存することが出来るように専用の溶液を用いて加工された花のことです。）

- ◆申込先：ファミリーサポートセンター
- 神栖本所 TEL 0299-93-1029 (担当：高森・馬場)
- 波崎支所 TEL 0479-48-0415 (担当：沢田・横田)



## ファミリーサポートセンターって？

“かみすファミリーサポートセンター”は、安心してゆとりある子育てができる環境をめざし、子育ての手助けをして欲しい人(利用会員)と子育てのお手伝いしたい人(サポーター)が登録し、地域で支え合う子育て支援活動を行っています。

### 利用するには

- 市内に在住・在勤で生後2ヶ月以上のお子さんを持つ方がご利用になれます。まずはファミリーサポートセンターへご登録下さい。

### 主な援助内容

- 保育園、幼稚園、学校等の帰宅後や休みの時などのお子さんの預かりや送迎。
- 保護者の急用(傷病・看護・冠婚葬祭・学校行事など)時の預かり。
- 保護者の育児疲れリフレッシュや買い物等の外出時の預かり。

### 利用料金

- 午前7時から午後7時 650円/時間
- 上記の時間以外 750円/時間

### ファミリーサポートセンターのしくみ

